第3回　帛の郷 運営推進会議　会 議 録

園　長	次　長	係　長	主　任

令和	6	年	9	月	25	日	（	水	）	司　会	記　録
午前　（午後）	13	時	30	分	～	14	時	30	分　まで	山田	山田

【　出　席　者　】	【　欠　席　者　】
山田様、樋口様, 小倉様、清野様、大橋様、二宮様、中川様、松田様（高齢福祉課）	山崎様（小学校校長）、剱様
矢部園長、山田次長、田中主任　　計　11 人	馬場主任

議　題	協　議　内　容　・　結　果
1. 開会挨拶	○帛の郷感謝際について。令和２年以降は新型コロナウイルス感染防止のため
	中止となっていた。今年度再開に向けて協議したが、施設において引き続き、感染
	対策の継続が必要なことから今後感謝祭の開催は難しいとの判断に至った。
	今までのご協力に感謝を申し上げます。
2. 施設概要	○資料の通り
（9月1日現在）	訂正箇所あり。
	３. 入居者地区別構成　男性２→４　女性２２→２０に訂正
	５. 入居者食事状況　　経口摂取　男性３→２　女性２３→２２に訂正
3. 入居者等の処遇	○感染予防対策で外出の機会が減っている中、各ユニットで調理レクを中心に行事を
の状況	行った。全体行事としては夏カフェを実施し、いつもより少し豪華なおやつで自分で
	選ぶ楽しさ、季節を感じて頂けるような工夫を行い、にぎやかなひと時となった。
4. 入居者様の健康	○受診状況
管理状況	７月、８月で計２０件の受診と2名の入院があった。
	最近では入院していた２名が退院。１名は家族の希望で経管栄養（胃瘻）となった。
	現在経管栄養者は４名、尿カテーテル留置が３名おり、医療的ケアが必要な方が増えて
	きた。また看取りケアに移行した方が１名、これから看取りケアについて説明予定
	の方が２名いる。
	○協力医療機関と連携を図るため７月から五泉中央病院と定期的にカンファ
	レンスを実施している。スムーズな受診ができるよう情報共有に努めているが
	7月に救急対応した方は、夕方の時間で当直医に交代する時間でもあったため
	医師が少なく受け入れてもらえなかった。
	受診のタイミング、症状によっては対応が困難な場合もあるが、今後スムーズな
	受診ができるよう病院と連携を図っていく。

議　題	協　議　内　容　・　結　果
5. 事故・苦情等の状況	○延べ63件の事故報告あり。
	行政報告は１件（転落により頭部打撲し脳外科を受診したが脳に異常はなかった）
	内出血が４７件と多いがわずかな刺激で出来てしまう方がほとんどで改善策を
	防ぐことが難しい状況にある。各ユニットで再発防止策の再検討の機会を設け、
	早期発見、予防に努める。
	その他の事故については資料参照。
	○ヒヤリハットは２件のみ
	事故に比べてヒヤリハットの件数が少ない。事故に繋がりそうな場面を見かけたら
	なるべく多くヒヤリハットをあげてもらうよう周知する。
6. 活動実績、今後の予定	○資料の通り
7. その他（意見交換）	・事故の状況で「その他」の内容はどのようなものか
	→誤配膳の事故が「その他」に入る。
	・男性の入居者が少ないことに気づく
	→施設概要の報告数が間違っていた。前述のとおり訂正する。
	・現在またコロナウイルスが流行ってきている状況で、抗原検査キットはあるのか
	→以前は県からの配布があり、流行時には週１回定期的に検査を行うことが
	できたが、５類に移行してから県の配布はなくなり、在庫もわずかとなって
	しまった。検査キットは高額であるため、現在は疑わしい症状があった
	場合に使用している。尚、入居者分は中谷医院からのものを使用している。
	・病院側と定期的にカンファレンスが出来ているのは良いことだと思う。
	・コロナウウイルスは今後も続くものと思うので、これからも感染対策に努めて
	頂きたい。
地域合同防災訓練	運営推進会議終了後、地域合同防災訓練を行う。
	中川様、松田様を除く地域住民の委員に残って頂き訓練を見学してもらう。
	訓練後、消防署及び防災委員より講評。（委員の方に向けて抜粋）
	施設はスプリンクラー設置してあり延焼することはないと思うが、火災で危険
	なのは他に煙を吸うことであるため、やはり安全な場所への避難が重要である。
	夜間帯は職員の人数が少ない為地域の方の協力がなくては避難は難しい。
	避難するにあたって日中は駐車場がいっぱいであるため、避難場所の確保が
	望ましい。また、ほとんどの方は車椅子で避難するが、使用している車椅子は
	いろいろな種類がありブレーキのかけ方なども違うため、そういったことも理解
	する必要がある。
	以上
	特別養護老人ホーム帛の郷　（次回開催は令和６年11月を予定）